

県教育委員会における多忙化改善に向けた取組状況

項 目	取組内容の事例
調査・照会の整理・統合や報告様式の簡略化、電子化を推進している。	<p>◎県教委から発出し、学校が回答するものについて、縮減、簡略化・電子化を進めた。</p> <p><前年度比 約 11%の縮減> (平成29年度599件 ⇒ 平成30年度534件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターの使用状況等の報告は、使用実績が把握できたことから廃止した。 ・学校内で行っている歯科保健指導の実施に関する報告は、指導が浸透してきたため廃止した。 <p><前年度比 約 22%の簡略化・電子化> (117件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員について、紙媒体による氏名報告を電子化することで業務の効率化を図った。 ・学校図書館の状況調査において、内容を精査し項目を縮減することで簡略化を図った。
主催する会議や研修会の整理・縮減や参加体制の工夫等を推進している。	<p>◎教員総合研修センターにおける集合型研修の縮減を進めている。</p> <p>(H28→H30 でボリューム20%縮減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 校内研修を充実することにより、集合型研修の整理・重点化を図り、教職員が学校を離れる時間を縮減 ⇒ 若手教員早期育成プログラムを全校実施し、校内OJTを充実 <p>(H30→H31 の縮減例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修の日数を3日程度縮減 ・中堅教諭等資質向上研修の日数を縮減するとともに、複数年での受講を可能とし、免許状更新講習との一部代替を可能とした。 <p>◎教員総合研修センターでの研修のライブ配信を拡充し、教職員の移動の負担軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年目研修の「いじめ不登校の未然防止等・保護者や地域との関係づくり」講座 ・6年目研修の「人権教育・学年学級経営」講座 など